

GP-3500/3600/3700 シリーズ 取扱説明書

お願い

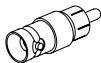
ご使用の前に必ず、別紙の「安全に関する使用上の注意」をお読みください。

梱包内容

- (1) GP 本体 1 台
- (2) 取扱説明書 日英各 1 冊 (本書)
- (3) 安全に関する使用上の注意 1 冊
- (4) 防滴パッキン 1 個 (本体に装着)
- (5) 取り付け金具 (4 個 1 組)
(AGP-3750T のみ 4 個 2 組)



- (6) RCA-BNC 変換コネクタ 1 個
(AGP-3550T、AGP-3560T、
AGP-3650T/U、AGP-3750T のみ)



- (7) AUX コネクタ 1 個
(本体に装着)



- (8) 電源コネクタ 1 個
(DC タイプ機種のみ)(本体に装着)



- (9) USB ケーブル抜け防止クランプ
(2ポート) 1セット
(ホルダー 1 個、カバー 2 個)



品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいませうようお願いいたします。

マニュアルについて

GP3000 シリーズに関する詳細な情報は以下の PDF マニュアルを参照してください。

- GP3000 シリーズハードウェアマニュアル
- 保守 / トラブル解決ガイド

GP-Pro EX のヘルプメニューから選択、または (株) デジタルホームページからダウンロードしてご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.proface.co.jp/otasuke/>

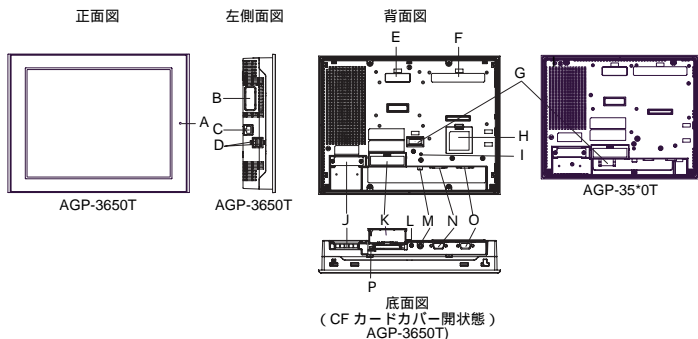
リビジョンについて

GP のリビジョンは GP に貼付された銘板ラベルで確認できます。

(例) 本来「5」の位置に「*」がくる場合、その GP のリビジョンは 5 です。



各部名称



名称		説明				
A	ステータス LED	色	表示	運転モード(描画)	ロジック動作モード (ロジック有効時)	
		緑色	点灯	オフライン	-	
				運転	RUN	
			点滅	運転	STOP	
		赤色	点灯	電源投入時		
			点滅	運転	メジャー異常	
橙色	点灯	バックライト切れ、または本体の故障 ¹				
	点滅	ソフトウェア起動中				
¹ 詳しくは GP3000 シリーズハードウェアマニュアル「バックライトの交換」をお読みください。						
B	拡張ユニット インターフェイス (EXT)	拡張ユニット (通信機能) 装着用				
C	イーサネット インターフェイス (LAN)	10BASE-T/100BASE-TX。 RJ-45 タイプモジュラージャックコネクタ (8 極)。				
D	USB ホスト インターフェイス (USB)	2 ポートあり。 USB1.1 対応。TYPE-A。 電源電圧 : DC5V ± 5%、出力電流 : 500mA(最大)。 最大通信距離は 5m。				
E	拡張ユニットインターフェイス 1 ¹	拡張ユニット (通信機能) 装着用。				
F	VM ユニットインターフェイス 1 ¹	(株) デジタル製 VM ユニット装着用。 (TFT カラー LCD 搭載機種のみ対応)				

G	補助入出力 / 音声出力インターフェイス (AUX)	外部リセット、アラーム出力、ブザー出力、サウンド出力。
H	拡張メモリインターフェイスカバー	拡張予定。
I	CF カードアクセス LED	CF カードが挿入されてカバーを閉じた状態、または CF カードをアクセス中は緑色に点灯。 MEMO • LED ランプが点灯中に、CF カードの抜き差しを行わないでください。CF カード内のデータ破損の恐れがあります。
J	電源コネクタ	DC モデル：電源コネクタ (ソケット) AC モデル：電源入力端子台
K	CF カードカバー	—
L	オーディオ入力インターフェイス (L-IN/MIC)	マイクを接続。ミニジャックコネクタ (∅3.5mm)、(AGP-3550T、AGP-3560T、AGP-3650T/U、AGP-3750T のみ対応)
M	ビデオ入力インターフェイス (V-IN)	NTSC(59.9Hz)/PAL(50Hz) 方式対応。RCA コネクタ (75Ω)(AGP-3550T、AGP-3560T、AGP-3650T/U、AGP-3750T のみ対応)
N	シリアルインターフェイス (COM1)	D-SUB9 ピンプラグタイプ。 RS232C/RS422/RS485 はソフトウェアで切り替え。
O	シリアルインターフェイス (COM2)	D-SUB9 ピンソケットタイプ。RS422/RS485 に対応。
P	ディップスイッチ	CF カードカバー内。

1 AGP-3500T/3550T/3560T は拡張ユニットインターフェイス 1 と VM ユニットインターフェイスを同時に使用することはできません。

一般仕様

電気的仕様

		DC モデル	AC モデル
電源	定格電圧	DC24V	AC100 ~ 240V
	電圧許容範囲	DC19.2 ~ 28.8V	AC85 ~ 265V
	許容瞬時停電時間	10ms 以下	1 サイクル以下 (但し瞬時停電間隔は 1s 以上)
	AGP-3500L AGP-3500S	DC24V 2.08A 以下 (TYP 1.08A)	AC100V 0.90A 以下 (TYP 0.45A) AC240V 0.45A 以下 (TYP 0.26A)
	AGP-3500T AGP-3510T AGP-3550T AGP-3560T	DC24V 2.08A 以下 (TYP 1.22A)	AC100V 0.90A 以下 (TYP 0.58A) AC240V 0.45A 以下 (TYP 0.29A)
	AGP-3600T AGP-3650T	<ul style="list-style-type: none"> GP のリビジョン「5」に マークなし¹ DC24V 2.08A 以下 (TYP 1.30A) GP のリビジョン「5」に マークあり¹ DC24V 2.08A 以下 (TYP 1.0A) 	<ul style="list-style-type: none"> GP のリビジョン「5」に マークなし¹ AC100V 0.90A 以下 (TYP 0.55A) AC240V 0.45A 以下 (TYP 0.30A) GP のリビジョン「5」に マークあり¹ AC100V 0.90A 以下 (TYP 0.40A) AC240V 0.45A 以下 (TYP 0.23A)
	AGP-3600U AGP-3650U	DC24V 2.08A 以下 (TYP 1.50A)	AC100V 0.90A 以下 (TYP 0.55A) AC240V 0.45A 以下 (TYP 0.30A)
	GP-3700 シリーズ	50W 以下	AC100V 1.1A 以下 (TYP 0.75A) AC240V 0.7A 以下 (TYP 0.44A)
	突入電流	30A 以下	60A 以下
	絶縁耐力	AC1000V 20mA 1 分間 (充電部端子と FG 端子間)	AC1500V 20mA 1 分間 (充電部端子と FG 端子間)
絶縁抵抗	DC500V 10MΩ 以上 (充電部端子と FG 端子間)		

1 GP のリビジョンの確認方法は、「リビジョンについて」(1 ページ)をお読みください。

環境仕様

物理的 環境	使用周囲温度	0 ~ 50°C ¹
	保存周囲温度	-20 ~ +60°C
	使用周囲湿度	10 ~ 90%RH (結露のないこと、湿球温度 39°C 以下)
	保存周囲湿度	10 ~ 90%RH (結露のないこと、湿球温度 39°C 以下)
	じんあい	0.1mg/m ³ 以下 (導電性塵埃のないこと)
	汚染度	汚染度 2

¹ STN カラー液晶搭載モデルでは、使用周囲温度 40°C 以上の環境下で長時間使用するとコントラストが低下するなど表示品位が低下することがあります。

設置仕様

		GP-35/36/3700 シリーズ (AGP-36*0U 除く)	AGP-36*0U
設置 条件	接地	機能接地：D 種接地 (SG-FG 共通)	
	構造 ¹	保護：IP65f 相当 NEMA #250 TYPE 4X/13 (パネル埋め込み時のフロント面) 形状：一体型 取付方法：パネル埋込	保護：IP65f (パネル埋め込み時のフロント面) 形状：一体型 取付方法：パネル埋込
	冷却方式	自然空冷	

¹ 本機をパネルに取り付けたときのフロント部分に関する保護構造です。当該試験条件で適合性を確認していますが、あらゆる環境での使用を保証しているものではありません。特に試験に規定されている油であっても、長時間にわたり噴霧状態に本機がさらされている場合や極端に粘度の低い切削油にさらされている場合などは、フロント部のシートのはがれにより油の浸入が発生することがあります。その場合は別途対策が必要となります。また、規定外の油でも同様の浸入やプラスチックが変質することがあります。本機を使用する前にあらかじめご使用の環境をご確認ください。

また、長時間使用した防滴パッキンや一度パネル取り付けした防滴パッキンはキズや汚れが付き、十分な保護効果を得られない場合があります。安定した保護効果を得るためには、防滴パッキンの定期的な交換をお勧めします。

外部インターフェイス

重要

- 接続相手との接続方法は、必ず「GP-Pro EX 機器接続マニュアル」をご確認ください。
- GP のシリアルポートにはアイソレーション機能はありません。特に接続相手がアイソレーションされていない場合は、必ず GP 側の 5 番 (SG) と接続相手側の SG を接続してください。RS232C/RS422/RS485 の回路が故障する恐れがあります。

COM1

ケーブル側推奨コネクタ	XM2D-0901 <オムロン (株) 製 >
推奨ジャックスクリュー	XM2Z-0073 <オムロン (株) 製 >
推奨カバー	XM2S-0913 <オムロン (株) 製 >
嵌合固定金具	#4-40 (UNC)

ピン番号	RS232C		RS422/RS485	
	信号名	内容	信号名	内容
1	CD	キャリア検出	RDA	受信データ A(+)
2	RD(RXD)	受信データ	RDB	受信データ B(-)
3	SD(TXD)	送信データ	SDA	送信データ A(+)
4	ER(DTR)	データ端末レディ	ERA	データ端末レディ A(+)
5	SG	信号グラウンド	SG	信号グラウンド
6	DR(DSR)	データセットレディ	CSB	送信可 B(-)
7	RS(RTS)	送信要求	SDB	送信データ B(-)
8	CS(CTS)	送信可	CSA	送信可 A(+)
9	CI(RI)/VCC	被呼表示 +5V±5% 出力 0.25A ¹	ERB	データ端末レディ B(-)
Shell	FG	フレームグラウンド (SG 共通)	FG	フレームグラウンド (SG 共通)

¹ 9 ピンの RI/VCC はソフトウェアで切り替え。VCC 出力は過電流保護されていません。誤動作、故障の原因になりますので、電流定格を守ってご使用ください。

COM2

MEMO

- ターミネーションピン (TRMRX/TRMTX) を使って終端する場合、必ず GP の COM ポートに近いところで接続してください。

ケーブル側推奨コネクタ	XM2A-0901 <オムロン(株)製>
推奨ジャックスクリュー	XM2Z-0073 <オムロン(株)製>
推奨カバー	XM2S-0913 <オムロン(株)製>
嵌合固定金具	#4-40 (UNC)

ピン番号	RS422/RS485	
	信号名	内容
1	TRMRX	ターミネーション (受信側 100Ω)
2	RDA	受信データ A(+)
3	SDA	送信データ A(+)
4	RS(RTS)	送信要求
5	SG	信号グランド
6	VCC	+5V±5% 出力 0.25A ¹
7	RDB	受信データ B(-)
8	SDB	送信データ B(-)
9	TRMTX	ターミネーション (送信側 100Ω)
Shell	FG	フレームグランド (SG 共通)

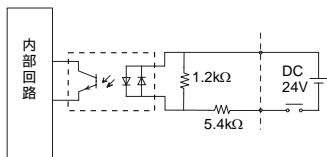
1 6ピンのVCC出力は過電流保護されていません。誤動作、故障の原因になりますので、電流定格を守ってご使用ください。

補助入出力 / 音声出力インターフェイス

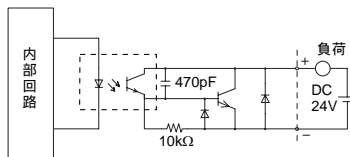
本体側使用コネクタ	AGP-35*0T :	S2L3.5/12/90F < ワイドミュラー社製 >
	AGP-3500L/AGP-3500S/ GP-3600/3700 シリーズ :	S2L3.5/12/180F < ワイドミュラー社製 >
適合端子台	B2L3.5/12LH< ワイドミュラー社製 >	

ピンコネクション	ピン番号	信号名	方向	内容
 <p>(ケーブル結線側)</p>	1	RESET IN_A	入力	外部リセット入力
	2	RESET IN_B	入力	
	3	RUN+	出力	動作信号
	4	RUN-	出力	
	5	ALARM+	出力	アラーム信号
	6	ALARM-	出力	
	7	BUZZER+	出力	ブザー信号
	8	BUZZER-	出力	
	9	NC	-	未結線
	10	NC	-	未結線
	11	SP	出力	スピーカーアウト
	12	SP_GND	出力	スピーカーグランド

• 入力回路図



• 出力回路図

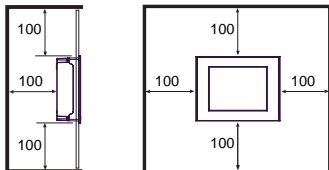


取り付け

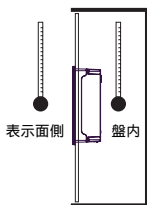
1. 取り付け条件

- 保守性、操作性および風通しをよくするため、GP と構造物や部品との間は 100mm 以上のスペースを取ってください。

単位：mm



- 故障の原因になりますので、使用周囲温度 0 ~ 50°C、使用周囲湿度 10 ~ 90%RH (湿球温度 39°C 以下) の環境で使用してください。
GP をケースや構造物に組み込んで使用する場合は盤内、表示面側両方の温度を使用周囲温度としてください。

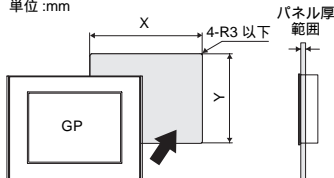


- 他の機器の発熱で GP が過熱しないようにしてください。

2. 本体の取り付け

- GP 各シリーズのパネルカット寸法にしたがって、パネル面に取り付け穴を開けます。

単位：mm

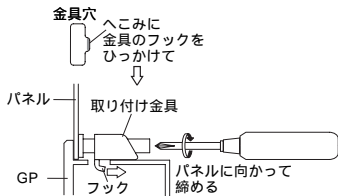
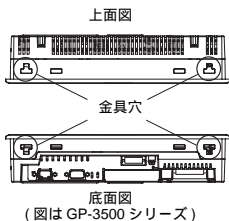


GP	X	Y	パネル厚 範囲
AGP-3500T AGP-3510T AGP-3550T AGP-3560T	259.0 ⁺¹ ₋₀	201.0 ⁺¹ ₋₀	1.6 ~ 10.0
AGP-3500L AGP-3500S AGP-3600T/U AGP-3650T/U	301.5 ⁺¹ ₋₀	227.5 ⁺¹ ₋₀	
AGP-3750T	383.5 ⁺¹ ₋₀	282.5 ⁺¹ ₋₀	

- GP に防滴パッキンが装着されていることを確認し、パネル面の正面から GP を挿入します。

重要

- 防滴効果を必要としないような環境においても防滴パッキン (本体装着) は、必ず使用してください。
防滴パッキンの取り付け方法については、GP3000 シリーズハードウェアマニュアルを参照してください。
- GP の金具穴に取付金具のフックを挿入し、取付金具のネジの後ろをドライバで止めます。金具穴に取付金具を挿入する時は、金具穴のへこみ部分に取付金具のフックを確実に挿入してください。
金具穴は 4 箇所 (AGP-3750T のみ 8 箇所) あります。



重要

- ネジは強くしめすぎると、GP を破損する恐れがあります。
- 防滴効果を得るための適正締めトルクは 0.5N・m です。

3. AUX コネクタの配線と取り付け・取り外し

重要

- コネクタの配線は、必ずコネクタを GP から外した状態で行ってください。感電の恐れがあります。

用意するもの

「マイナスドライバ 1 本」

推奨マイナスドライバ：SDI（品番 900837）＜日本ワイドモトローラー製＞またはドライバ寸法が、刃先厚：0.4mm、長さ 2.5mm、刃先からハンドルまでの長さ 80mm。DIN5264A に基づく刃先形状のもので、安全基準 DN EN60900 に基づくもの。また刃先は、縦幅の狭いコネクタの工具挿入口に対応するために、

下図のような平たい物をご使用ください。

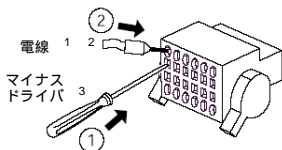


取り外し

コネクタ両端のレバーのツメ先を回すとコネクタが GP からはずれます。

配線・取り付け

- (1) 四角の穴にドライバを差し込みます。次に、丸の穴にケーブルを差し込み、ドライバを抜くとケーブルが固定されます。AUX コネクタのピンアサインは「外部インターフェイス」を参照してください。



- (2) 配線済みの AUX コネクタを、GP 背面の (AGP-35*0T では底面) 補助入出力 / 音声出力インターフェイス (AUX) に差し込みます。奥まで挿入しにくい時は、コネクタ両端のレバーのツメ先を逆向きに回した状態で差し込んでください。

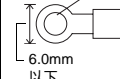
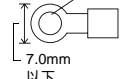
- 1 適合電線サイズは AWG22 ~ 18 でより線のものを使用してください。UL1015 または UL1007 が適合電線です。

- 2 電線ストリップの長さは 6.5 ~ 8.0mm です。

重要

- 電線ストリップ長さは上記の適正値の範囲を守ってください。ストリップ長が長すぎる場合、導電部が電線挿入口からはみ出し、感電や他の電線間との短絡を引き起こす恐れがあります。ストリップ長が短すぎる場合、導通しない恐れがあります。

- 電線(より線)ははんだメッキしないでください。接触不良の原因となります。
 - 電線(より線)は電線挿入口(穴)にすべての線を収めるように挿入してください。故障やほかの電線間との短絡を引き起こす恐れがあります。
- 3 コネクタの工具挿入口(口穴)内でマイナスドライバの刃先を回さないでください。

推奨圧着端子 ¹	日本圧着端子製造(株)製 V2-MS3 相当 3.2mm 以上	日本圧着端子製造(株)製 V2-P4 相当 4.3mm 以上
		

- 1 ネジのゆるみ時の短絡を防止するために、絶縁スリーブ付き圧着端子を使用してください。

電源配線



警告

- 感電の恐れがありますので必ず電源が供給されていない状態で接続してください。
- 定格電圧以外を入力しないでください。定格電圧以外を供給すると電源および本体が破損します。
- FG 端子は必ずアースに落としてください。故障したときに感電する恐れがあります。

1. AC タイプの電源ケーブルの配線

重要

- FG 端子を盤フレームに接続した場合は、ノイズの影響を受けやすくなりますので、必ず D 種接地工事を施してください。

電源ケーブル仕様

銅芯線を使用してください。

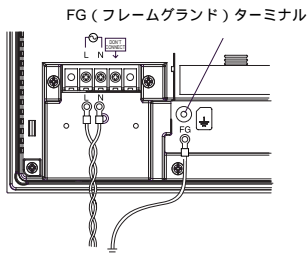
	AC ケーブル	アース線
電源ケーブルの太さ	二重絶縁線 1.25 ~ 2.0mm ² (16-14AWG)	1.25 ~ 2.0mm ² (16-14AWG)

電源ケーブルの接続方法

- (1) 通電されていないことを確認します。
- (2) 端子台カバーを外します。
- (3) 端子台の2カ所(L、N)およびFG (フレームグランド)ターミナルのネジを外し、圧着端子をネジ穴にあわせた後、ネジ止めします。

重要

- 適正な締め付けトルクは以下のとおりです。
端子台 : 0.5 ~ 0.6N・m
FG (フレームグランド)ターミナル : 0.6 ~ 0.7N・m

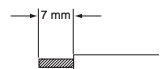


- (4) 端子台カバーを付けます。

2. DC タイプの電源ケーブルの配線

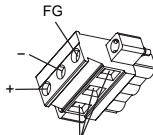
電源ケーブル仕様

銅芯線を使用してください。

電源ケーブルの太さ	0.75 ~ 2.5mm ² (18 - 12 AWG)
芯線の状態	単線またはより線 ¹
芯線の長さ	

1 より線を使用する場合、芯線のよじりが適切でないと、芯線のヒゲ線同士またはヒゲ線と隣の電極とが短絡する恐れがありますのでご注意ください。

電源コネクタ（プラグ）仕様

 <p>電源ケーブル接合部</p>	+	24V
	-	0V
	FG	GPの筐体に接続されている接地用端子

MEMO

• 電源コネクタ（プラグ）は、（株）デジタル製 CA5-DCCNL-01 または、フエニックス・コンタクト（株）製 GMVSTBW2,5/3-STF-7,62 です。

電源配線には次をご使用ください。フエニックス・コンタクト（株）製です。

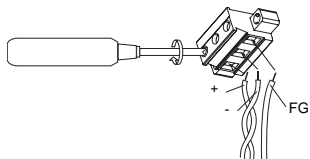
推奨ドライバ	SZF 1-0.6x3.5 (1204517)
推奨棒端子	AI 0.75-8GY (3200519) AI 1-8RD (3200030) AI 1.5-8BK (3200043) AI 2.5-8BU (3200522)
推奨棒端子用 圧着工具	CRIMPFOX ZA 3 (1201882)

電源ケーブル接続方法

- (1) 通電されていないことを確認します。
- (2) 電源コネクタ（プラグ）を本体から取り外します。
- (3) 電源コネクタの中央3カ所のネジを緩めます。
- (4) 電源ケーブルの被覆を剥いて、芯線をよじり、棒端子に挿入して圧着。接合部へ取り付けます。
- (5) ネジで固定します。

重要

- 端子ネジを締め付ける時はマイナスドライバ (SIZE0.6×3.5) をご使用ください。適正な締め付けトルクは 0.5 ~ 0.6N・m です。
- ケーブルの接合部分にはんだ付けしないでください。異常発熱による故障、火災の恐れがあります。



- (6) 電源コネクタを GP に取り付け、左右の電源コネクタ固定ネジで GP 本体に固定します。

3. 電源供給時の注意事項

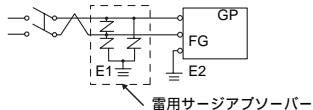
- GP の電源と入出力機器、および動力機器とは、系列を分離して配線してください。
- 電源ケーブルは必ず電源コネクタ（プラグ）に近いところから、耐ノイズ性向上のためツイスト（より線）で布線してください。
- 主回路（高電圧、大電流）線、入出力信号線、電源ケーブルは、それぞれ束線、接近をしないでください。
- ノイズ対策のため、電源ケーブルはできるだけ短くしてください。
- 電圧変動が規定値以上の場合は定電圧トランスを接続してください。
- 線間や大地間は、ノイズの少ない電源を使用してください。ノイズが多い場合は絶縁トランス（ノイズカットトランス）を接続してください。
- 取り付け導体の温度定格は 75 のみです。

重要

- 定電圧トランス、絶縁トランスの容量は定格値以上のものを使用してください。
- DC24V 入力機は必ず Class 2 電源でご使用ください。
- 雷のサージ対策に、雷用サージアブソーバを接続してください。

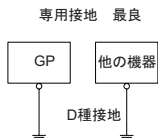
重要

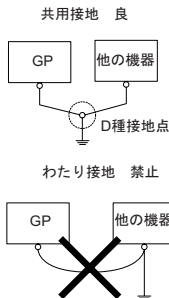
- 雷サージアブソーバの接続 (E1) と本体の接地 (E2) とは分離してください。
電源電圧最大上昇時でもサージアブソーバの最大許容回路電圧を超えないような雷用サージアブソーバを選定してください。



4. 接地時の注意事項

- 電源ケーブルの FG は、専用接地としてください。「接地工事は D 種接地、接地抵抗 100Ω 以下」
- GP は内部で SG（信号グランド）と FG（フレームグランド）が接続されています。接続装置と SG を接続する場合は、短絡ループが形成されないようにシステムを設計してください。
- 2mm² 以上の接地用電線を使用してください。接地点は本体の近くで接地線の距離を短くしてください。接地線が長くなる場合は太い絶縁線を通して敷設してください。





5. 入出力信号接地時の注意事項

- 入力信号線、および出力信号線は、動力回路のケーブルとは別の配線系統に布線をしてください。
- 動力回路ケーブルを別の配線系統にできないときには、シールドケーブルを使用して、シールド端を接地してください。

USB ケーブルの抜け防止に

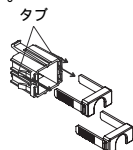
重要

- USB ホストインターフェイスをハザードスロケーションで使用する場合は USB ホルダーを使用して USB ケーブルを固定してください。GP 側および接続機器側のコネクタが抜けられない限りハザードスロケーションでの USB ホストインターフェイスは使用できません。

USB ホルダーの取り付け

- (1) USB ホルダー側面部のタブ（2箇所）を図の矢印方向に向けた状態で、

USB カバーをあらかじめ取り外しておきます。



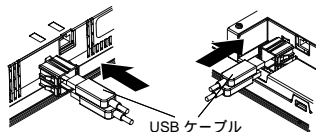
- (2) USB ホルダーを本体の USB ホストインターフェイス部分に取り付けます。USB ホルダー下部のツメを本体の取り付け穴に引っ掛けてから上部のツメを挿入し、本体に固定します。

GP-3500/3600 シリーズ GP-3700 シリーズ



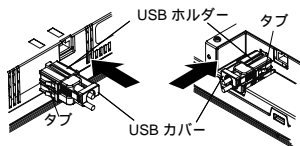
- (3) USB ケーブルを USB ホストインターフェイスに差し込みます。

GP-3500/3600 シリーズ GP-3700 シリーズ



- (4) USB カバーを取り付けて USB ケーブルを固定します。USB カバーを USB ホルダーのタブに挿入します。

GP-3500/3600 シリーズ GP-3700 シリーズ



2 本目の USB ケーブルを取り付ける場合は手順(3)から(4)と同様の操作を行います。

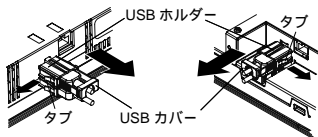
重要

- GP 使用時は必ず USB カバーを 2 つとも取り付けてください。

USB ホルダーの取り外し

- (1) USB ホルダーのタブを持ち上げて USB カバーを取り外します。

GP-3500/3600 シリーズ GP-3700 シリーズ



- (2) USB ケーブルを取り外した後、USB ホルダーを上下につぶしながらツメを外します。

安全規格の認定について

規格取得の詳細は (株) デジタルホーム ページにてご確認ください。

< 注意事項 >

GP を組み込んだ機器を UL 申請する際は、以下の事項にご注意ください。

- GP の背面部はエンクロージャとして認定されていません。GP は機器に組み込み、機器全体として規格に適合するエンクロージャを構成してください。
- GP は室内専用機として使用してください。
- GP は前面取り付けで使用してください。
- 自然空冷の場合、GP は垂直なパネルに取り付けてください。また、背面部周囲の空間は全方向に 100mm 以上開けることを推奨します。温度は GP の組み込まれた最終製品で確認しなければなりません。
- シリアルインターフェイス (COM2) は Limited Power Sources ではありません。
- タイプ 4X (室内専用) および / またはタイプ 13 エンクロージャの平面上に取り付けてください。
AGP3650-U1-D24 はタイプ 1 エンクロージャの平面上に取り付けてください。

ハザーダスロケーション規格適合条件および取り扱い注意

- (1) 電源、入出力 (I/O) の配線は、米国においては National Electrical Code, NFPA 70, Article 501.10(B) で規定されている Class I, Division 2 の配線方法に適合していなければなりません。また、カナダにおいては Canadian Electrical Code Section 18-152 に配線方法が適合していなければなりません。
- (2) Class I, Division 2, Groups A,B,C および D ハザーダスロケーションまたはノンハザーダスロケーションでの使用のみ適合しています。

- (3) 警告：爆発の危険 - 代替部品の使用により、Class I, Division 2 の適合性が損なわれる可能性があります。
- (4) 警告：爆発の危険 - ハザーダスロケーションでは、モジュールを取り替えたり配線する前に電源を遮断してください。
- (5) 警告：爆発の危険 - 電源を遮断するか、ノンハザーダスであることが確認できない限り、機器の切り離しをしないでください。
- (6) 警告：爆発の危険 - 電源が遮断されているかノンハザーダスであることが確認できない限り、機器の切り離しをしないでください。
- (7) ハザーダスロケーションで使用する場合、外部接続ユニットおよび各インターフェイスは必ずネジによる固定またはロックを確認してください。また、ハザーダスロケーションでは該当ポートの抜き差しはできません。抜き差しは必ずノンハザーダスであることを確認した後に行ってください。

CE マーキングについて

- AGP3500-S1-AF/AGP3500-T1-AF/
AGP3510-T1-AF/AGP3550-T1-AF/
AGP3560-T1-AF/AGP3600-T1-AF/
AGP3650-T1-AF/AGP3750-T1-AF は
EMC 指令と低電圧指令に適合した CE
マーキング製品です。
- AGP3500-L1-D24/AGP3500-S1-D24/
AGP3500-T1-D24/AGP3600-T1-D24/
AGP3650-T1-D24/AGP3650-U1-D24/
AGP3750-T1-D24 は、EMC 指令に適
合した CE マーク製品です。

詳細は、(株) デジタルホームページから CE 宣言書をダウンロードしてご確認ください。

お問い合わせ

GP でお困りのこと、ご質問など、いつでも解決のお手伝いをさせていただきます。弊社サポートサイト「おたすけ Pro!」へアクセスしてください。
<http://www.proface.co.jp/otasuke/>

お断り

本製品を使用したことによるお客様の損害その他不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

株式会社 デジタル

〒 559-0031
大阪市住之江区南港東 8-2-52
TEL : (06) 6613-1101 (代)
FAX : (06) 6613-5888
URL : <http://www.proface.co.jp/>

本書の記載事項はお断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

© Copyright 2005 Digital Electronics Corporation. All rights reserved.
PFX125343C
.AGP35/36/3700-MT06J-BTH
2012.3 SS/C